

## 第 31 回 栗東市 中小企業振興会議 主な意見と事務局回答

### 【協議事項】

#### (1) 新年度の事業に向けた考え方(案)について

主な意見	事務局回答
<p>● プレミアム付商品券発行事業について、令和 3 年度は商品券を 3 回に分けて発行し、全ての回において応募多数であることから購入者を抽選で決定しているが、3 回とも当選しなかった応募者はいるのか。来年度については、例えば 1 回目に当選しなかった応募者は 2 回目に当選しやすくするといったように、抽選方法を工夫することでより多くの方が購入できるようになるのではないかと。</p>	<p>■ 3 回とも当選しなかった応募者がいるのか把握はできていないが、該当者はいることが考えられる。 来年度は各回 20,000 冊の発行を予定しているが、予算の状況も踏まえながら可能な限り多くの方が購入できるよう販売冊数を検討したい。抽選方法についても、商工会と協議して検討をしていきたい。</p>
<p>● 市内飲食感染防止対策支援金事業について、自社においても、外部での飲食については滋賀県の認証店舗を利用することが決められており、是非ともこの制度は実施してもらいたい。 栗東市内の店舗の認証数について、滋賀県、近隣市と比較すると低くなっているが、原因として何かわかることはあるのか。</p>	<p>■ 野洲市については、令和 3 年 10 月から認証店舗に対する支援金事業を実施していることから県内でも認証率が高い状況となっている。 草津市、守山市については認証率が高い要因は把握できていないが、本市よりも駅前に飲食店が多く、そのような店舗が認証を受けておられるのではないかと考えられる。 今後は、認証店舗への支援金事業の実施だけではなく、当制度のさらなる周知を実施していく必要があると考えている。</p>
<p>● 市内事業者へのアンケート調査事業について、調査を行うことは重要であると考えている。その調査結果を後半期ロードマップの評価に対してどのように反映していくのか。後半期ロードマップへの内容の見直しにかかる今後の考え方があるのか。</p>	<p>■ 後半期ロードマップは令和 4 年度が 5 か年の計画期間の 3 年目にあたり、計画の中間評価を行う年となる。 当ロードマップにおける各年度の実施計画に位置付けている各事業について、令和 4 年度に今後の実施方法・内容等について検討をすることとなっている。その検討のためにアンケート調査結果を活用していくが、5 か年の計画期間であることから、中間時点で事業の廃止をしていくということではなく、制度内容の見直しや拡大等を行い、申請件数が少ない制度の活用を促進できるように考えていきたい。</p>